

## 教職員との意見交換会 及び 令和5年度第4回江府町学校運営協議会 議事録

■期 日：令和5年12月22日（金）

■時 間：13:30～15:00

■場 所：日野川校舎 多目的ホール

### 《教職員との意見交換会》

<出席者>

【教職員】奥大山江府学園教職員 27名

【委員】宮本会長、井上裕吉副会長、井上廉女委員、高津委員、加藤健一委員、長谷川委員、景山委員  
（欠席：小椋委員、船越委員、藤原委員、遠藤委員、加藤千恵子委員）

【事務局】持田指導主事、森田副校長、山本教頭、竹田 CSD

#### 1 開会

挨拶 学校運営協議会 宮本会長  
奥大山江府学園 景山校長

#### 2 自己紹介

#### 3 コミュニティ・スクールについて説明（竹田 CSD）

#### 4 グループ協議（8グループ）

【テーマ】奥大山江府学園児童生徒の強みと課題

（学校現場の中で見えること、学校運営協議会の活動・地域の中で見えること）

【全体共有】3グループが発表

	強み	課題
3班	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1～9年生までの顔が分かっており、上下学年で良い関係性が築けている。</li> <li>・外遊びが好きな児童が多い。関係性は不明だが、全国平均と比べ視力の良い児童が多い。</li> <li>・頑張っている友人に優しい等、思いやりがある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・少人数で関係性が親密であるがために、おせっかいや、甘えが出る事がある。</li> <li>・相手の事がわかっているため挨拶の必要性を見出せず、自分からすることができない。</li> <li>・今の子どもたち全体に言えるが、時代的な問題もあり制限が多く、経験値が少ない。</li> <li>・友達の家が遠いので自宅でのメディアの使用時間が増えてしまうのではないか。</li> <li>・文字に触れる機会を増やし、学習面への強化につなげたい。</li> <li>・自分で限界を決めつけず、粘り強く努力してほしい。</li> </ul>
4班	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども同士の仲が良い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共心が薄いので、家庭・地域とも連携して子ども達にパブリックな場を経験させた方が良い。</li> </ul>
6班	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども同士の仲が良い。</li> <li>・優しく、素直である。</li> <li>・他学年とも良い関係が築けている。</li> <li>・地域愛が強く、片付けや準備などの声かけをするとすぐに手伝ってくれる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仲が良い一方で、甘えが出る。</li> <li>・休憩時間と授業の切り替えが苦手。</li> <li>・自立心が弱い。</li> <li>・バスが朝早く夜遅いため、家でゆったり過ごす時間が短いのではないか。</li> </ul>

#### 5 閉会

引き続き

《令和5年度第4回江府町学校運営協議会》

<出席者>

【委員】宮本会長、井上裕吉副会長、井上廉女委員、高津委員、加藤健一委員、長谷川委員、景山委員  
(欠席:小椋委員、船越委員、藤原委員、遠藤委員、加藤千恵子委員)

【事務局】持田指導主事、森田副校長、山本教頭、竹田 CSD

## 1 協議

意見交換会の残り5グループについて共有

	強み	課題
1班	<ul style="list-style-type: none"><li>・地域では挨拶をよくしている。</li><li>・雰囲気がとてもアットホームであたたかい。</li><li>・素直である。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・自分から挨拶が出来ていない。</li><li>・公共心が弱いのではないか。</li><li>・周りの人と家族化していて自立性や主体性が生まれにくいのでは</li><li>・素直であるが故に、「人に言われたらやる」となってしまっている。「自分でする」という力を付けるべき。</li></ul>
	強みや良さが、裏を返して課題になっているパターンが見られる。	
2班	<ul style="list-style-type: none"><li>・素直さがあり、全ての強みのベースになっている。</li><li>・挨拶がきちんとでき、礼儀正しい児童生徒が多い。</li><li>・人とのつながりを大事にしている、非常に仲が良い。他学年と遊ぶこともある。</li><li>・歯磨きなど基本的な生活習慣が出来ている。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・少人数でのつながりである為、外に出た時に初めてに弱く人が多い所に苦手意識がある。</li><li>・つながりが強いが故に、周りの人への甘えがある。</li><li>・睡眠を十分取れていない。</li></ul>
5班	<ul style="list-style-type: none"><li>・素直である。</li><li>・言われたことはする。</li><li>・関係が深く、まとまりが良い。縦割りの関係が出来ている。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・対人経験が少なく、言わなくても分かってもらえる為、自分の気持ちをきちんと言葉で伝える事が難しい。</li><li>・自分から挨拶が出来ていない。</li><li>・少人数であるが故に競争意識が低く、それが学習意欲の低下につながっているのでは。</li></ul>
7班	<ul style="list-style-type: none"><li>・素直な子が多い。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・本物を見たり体験したりする経験値が低いのでは。</li></ul>
	経験について 「十七夜」夜店を楽しむだけでなく、十七夜の始まりから江府町の歴史や文化に繋げた学びをすべき。 「奥大山大根クラブ」大根を育てて終わりではなく、加工する、市場で販売してお金と交換するという所まで発展させた学習をした方が良い。 「荒神神楽」鑑賞だけでなく、衣装などを触ったり着用したりする。また、歴史などを知る、江府町では、鳥取県では、山陰ではと広げて学ぶとより良い。 上記のような経験をさせる為には、今まで以上に学校と学校運営協議会の密なる連携が必要である。	
8班	<ul style="list-style-type: none"><li>・素直である。</li><li>・挨拶ができる。</li><li>・少人数である為、必然的にリーダーをする機会があり、頑張れる。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・少人数であるが故に分かり合ってしまう、自分を出しにくいのではないか。</li><li>・日野川校舎では日野川を活かすなどして、体を動かして遊ぶ機会がある方が良いのでは。</li></ul>

8班	・自然が大好きで、ブナの森校舎では裏山でしっかり体を動かして遊ぶことが出来る。	
	地域からの話 ・学校支援ボランティアの場面（花植え活動など）で、もう少し子ども達が自分で工夫する場面があった方が 良い。 ・十七夜には町外からも多く人が来られるので、それに合わせて子どもが発表する場があったら良い。	

全体を通して

- ・保育園から中学校卒業までずっと同じメンバーというのは、本日の話では仲の良さにつながっているということだが、自立や競争心を育むことにおいてはマイナスなのかもしれない。また誰の為に勉強するのか分かっておらず、親に言われるから勉強しているように感じる。
- ・自分が保育園年中の娘に感じている「人前に弱い」「大勢が苦手」というような課題がそのまま9年生まで続いているという状況を知る機会になった。
- ・課題である自立や主体については、予想通りであった。どのような方法を探れば良いかまだ分からないが、例えば自分の子には「YouTubeばかり見ているのであれば自分も発信をしなさい」と言うだろう。受動だけでなく発信していくことが必要なのかもしれない。
- ・同じメンバーである事でなれ合いのような状況は出来やすいので、西ノ島との交流だけでなく日野川校舎の子ども達も他校と交流をするような場があると良い。また、学習面では成績がもっと上がると自信もついていくのではないかと考えた。
- ・ブナの森と日野川の先生方、そして地域との交流の場がくれた事は非常に良かったと思う。GIGAスクールについて等、具体的な話もしてみたかった。
- ・子ども達は自発的に色々な事をする事で、自己有用感が高まり、またさらにやってみようとなるので子ども発信ですることがもっと増えると良いと思う。
- ・他の施設分離型義務教育学校（本校と同じ5・4制）で、6年生から9年生に向かって成績の伸びが見られるとの話を聞いた。同じ校舎で6年生が先輩の勉強に向かう姿を見ているからだろう。本校も同じようになっていくようにしていきたい。
- ・素直さを活かしながら、子ども達の主体性や自立する力をつけていくような活動をしていけるようにすると良いと思う。